
「コロシウム」

シーザス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「コロシウム」

【コード】

N0097Y

【作者名】

シーザス

【あらすじ】

3つの世界に現れたのは「コロシウム」《管理者》と名乗る人物。

この人物は『家庭教師ヒトマンREBORN！ 音の守護者』、『「実験体」』、『魔法少女リリカルなのは 異世界に行ったエクスシスト』に同時に現れて彼等を「コロシウム」に引きずり込んだ。

これは作者の作品の『家庭教師ヒットマンREBORN！ 音の守護者』、『実験体』、『魔法少女リリカルなのは 異世界に行ったエクソシスト』の主人公+ が出てきます。

色々混ぜってますが気にしないでください。

1・各々からやってきた仲間

+++++

...

一つ目の世界

葵・「貴方は何者なの！？ 何故、私と同じ姿を……………？」

葵は、目の前の「自分」に向かって言い放った。

？・「フッフ…私は貴女を「招待」しに来たんですよ。」
「ロシアム」にね。」

葵・「！」

葵は驚いた。

その人物は、自分と同じ声だったのだから。

葵：「コロシウム」・・・?」

? 「はい。そうです。まずは自己紹介です。私は「漣」。
「コロシウム」の《管理者^{マスター}》です。」

葵：「・・・《管理者》? ・・・皆を助けるためには、貴方の言うことを聞かなければならない、と?」

答えると《管理者》は手を叩きながら、

漣：「ブラボー!! 御名答。その通り」

葵：「・・・わかった。《^{トレビン}闔》を開いて。」

漣：「フフフ・・・わかりました。」

そして、《管理者》は「パチン!」と、指を鳴らした。

すると、《管理者》の足元から《闔》が現れた。

葵・「……………」

私は無言のまま、《闇》に入ってしまった。

漣・「貴方のお友達も、直ぐに行きますよ。」

+++++

…

二つ目の世界

アレン・「貴女は何者だ!? 何故シグナムの姿をしている!！」

漣・「フフフ…焦らないでください。アレン・ウォーカー!。」

私は貴方を「招待」しに来たんですよ。「コロシウム」にね。」

アレン・「「コロシウム」…? 「招待」…? それより、

何故お前は僕の名前を知っている!？」

漣・「教える義理はありませんね。」

アレン・「貴様！　？十字架ノ墓？！」

漣・「紫電一閃」

？十字架ノ墓？は紫電一閃によって紙切れ同然に切り刻まれてしまった。

漣・「クククク．．．どうします？　仲間を助けるために「コロシアム」に来るか。　仲間を捨てて一人だけ助かるか。　選ぶ。」

アレン・「．．．．．わかった。　だから．．．皆には手を出すな。」

漣・「クククク．．．わかってますよ。　私は約束は守る方でしてね。　では、《闇》に入ってくださいませ。」

パチン！

突然、「音の結界」が張られて逃げられなくなってしまった。

音色・「音の属性」．．．!?!? 「超音波の破壊」ウルトラソultraso
ノロロ・ダンネッジャメント
norro・danneggiamento(「!?!」粉砕する
嵐)【atomizzare・tempesta(「!?!」アトミッザレ テンペスタ

「超音波の破壊」で「音の結界」を破壊しつつ、「粉砕する嵐」で謎の人物を攻撃する。

漣・「重力の障壁」グラヴィタツィオナーレ【gravitazionale・barriera(「エトラ

音色・「!!」防がれた!?!」

漣・「少しは私の話を聞いてはいただけませんか?」

音色・「話?」

漣・「ええ。ですが今は「炎の稲妻」ファイアンメオ【fiammeo・folgora(「ルゴレ

現れた《闔》を見つめる。

音色：「．．．そっか。貴方だったんですね。私に用事があったのは。」

漣：「御名答。」

音色：「仲間．．．か．．．」

私は《闔》に入ってしまった。

+++++

．．．

漣：「．．．ご協力感謝します。」

只一人、《闔》の前でたたずんでいた漣はそう言った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0097y/>

「コロシム」

2011年10月29日03時10分発行